

腕の保持具の製作

1 相談内容

相談者は筋萎縮性側索硬化症(ALS)で介助型車いすを利用している方です。自分の腕が重く感じて肩がこるので、腕を吊る三角巾のようなもので、簡単に介助者が着脱できるものが作れないかと相談に来られました。しかし、それでは一層、肩がこるのではないかと判断し、腕をアームレストの位置に置いて固定できる自助具を提案しました。本人もそれで試してみたいと納得されたので、アームレストの上に取り付ける幅広の腕を置く保持具を作ることにしました。

2 利用者プロフィール

70代女性、ALSにより身体障害者手帳2級、要介護5であり、息子家族と一緒に暮らしています。

3 対応

アクリル板を腕に合うように弧を描く形で曲げます。前後左右の位置に注意して本人の希望する場所を探した後、曲げた板の下に木材を取り付け、さらに下にアルミ板を曲げたものを固定して完成です。



作成した腕置き



横からの様子

4 結果

本人から腕を乗せてから肩こりも少なく使い勝手も良いとの感想をいただきました。